

平成 27 年 3 月 1 9 日

千葉市市民局市民自治推進部市民自治推進課長 様

特定非営利活動法人 福祉の街美浜をつくる会  
理事長 由佐勝美



#### 市民への説明の要請について

平成 27 年 2 月 26 日付け 26 千市自第 404 号により要請のありました標記の件につきましては、本文書及び別添説明書を当事務所に備え、誰でも閲覧可能な状態で備え置いたことをご報告いたします。併せて、本文書及び別添説明書が、貴職要請書のとおり千葉市のホームページに全文掲載されることを承知いたしますとともに、是非そのようにお取扱い下さるようお願いいたします。

当法人は、これまで美浜区住民とりわけ子育て中の若いお母さんたちや高齢者・障がい者への様々な生活支援活動、交流活動を通じて、それら市民の孤立感、日常生活上の困窮の解消を図ってまいりました。

今回の「4 月からの千葉市の高齢者や障害者の福祉計画についての説明と福祉相談会」は、これら計画案について千葉市御当局の市ホームページ上のパブリックコメント(詳細別紙)や各区一か所の説明会では、地域で実際に介護保険による制度利用の必要な高齢者等が内容を理解し意見を出すことは事実上不可能であることから、内容の重要性に鑑み当法人の活動の一環として、高齢者等の身近な場所で開催し、わかりやすい丁寧な説明会の開催の必要性があると考え、本「市福祉計画説明・相談会」を開催したものであることをご理解願いたいと存じます。

# 説明書

NPO法人福祉の街美浜をつくる会主催の「4月からの千葉市の高齢者や障害者の福祉計画についての説明と福祉相談会」に関する市民への説明内容

## 1、当法人の事務所と市議会議員の事務所の関係性及び機能の区分

### ①当法人の設立経緯

当法人の前身は、1990年頃から私たちの街を福祉の充実した街にしたいと、地域の有志が集まり、福祉講演会の開催や美浜区に誘致すべく特別養護老人ホームの見学会を行ってまいりました。その後2000年に介護保険法が施行されるとともに、それまで郊外に設置されていた老人ホームが市内で初めて美浜区の団地の中に設置されました。(特別養護老人ホーム美浜苑)

また、子育てに不安を感じる母親等があることを知り、2001年12月「子育て講演会」を開催しました。講演会開催を契機に、子育ての不安・孤立感の解消のため、「子育て親子交流会」を開始し、以来高洲コミュニティセンターで月1回開催しています。

このような活動を行うに当たり、任意団体として「福祉の街美浜をつくる会」を結成し、代表者として布施貴良市議会議員に就任ををお願いしました。

2000年の介護保険法の施行とともに、当美浜区には、企業法人でなく住民が相互に助け合う介護団体が必要ということで、「福祉の街美浜をつくる会」の会員を中心に千葉市基準該当の訪問介護団体「たすけあい美浜」が設立されました。当該介護団体は、非営利任意団体として主として介護度の低い高齢者にホームヘルプ活動を行っています。介護度が低くても団地の中での独居は、ヘルパーの介護なしには生活できないのが実態です。さらに、こうした高齢者には日常的な生活支援が必要であることから、当該介護団体と連携し当法人が任意団体のころから、介護保険外の蛍光灯の取り換え、家具の移動、通院の介助等の日常生活の支援を行ってきたところです。高齢者等への生活支援についてはボランティアですが、事故への対応の必要性等から会員制(年会費500円)、有償ボランティア(1時間500円)とし主に保険代、ボランティア交通費に充当しています。

このような活動の広がりから、2008年2月NPO法人として千葉県の認証を取得しました。その際、これまでの経過から、布施貴良市議会議員に理事長をお願いしました。また、当法人は実質的にボランティアの集まりであり、独自の事務所を持ち専従職員を置く財政基盤もないことから、同市議会議員の事務所を連絡場所としています。なお、その後役員については、2011年4月から理事

長に由佐勝美が就任し、2014年4月から布施貴良市議会議員は、理事を退任し現在顧問になっています。

## ②機能区分

当法人の設立経緯と実態から、当法人の事務所は、布施貴良市議会議員の事務所に置き連絡場所としています。電話は、「お元気ですかコール」用等の活動と連絡用のため独自のもの(043-270-3222)を置いています。事務机等はなく書類や活動の道具を置かせてもらうのみです。したがって専従者もいないため、外部からの連絡用に同市議事務所の電話(043-277-1212)を借用して記載しています。

理事会、総会等の会議は、高洲コミュニティセンター、地域団地集会所等を借りて開催しています。月一回開催の高齢者居場所活動「いっぷく」は、高洲第一団地第一集会所会議室で開催しています。「子育て親子交流会」は高洲コミュニティセンター若しくは団地集会所で月一回開催。なお、1人暮らし高齢者への安否確認「お元気ですかコール」は、約30名の対象者に対して、布施事務所の応接室を借りて当法人担当者が週二回実施しています。高齢者等の日常生活支援相談は、事実上24時間体制で、週日昼間は主として布施事務所にて副理事長の神馬嘉津子が、休日・夜間は主として布施貴良顧問と布施良子理事(精神保健福祉士資格有)が緊急時の連絡を受け、ボランティアの調整を神馬嘉津子副理事長(ヘルパー2級資格有)が行っています。

### 2、当法人が特定の市議会議員に関する政治・選挙活動を行っていないこと

当法人として、顧問である布施貴良市議会議員を始め、政治家及び政党に対する支援・支持活動は一切行っていません。選挙活動も同様です。

### 3、当法人の事業・事務・経理等と市議会議員事務所の事業・事務・経理等が区分されていること

当法人は、法人として理事会のもとに、各担当者が事業・事務・経理を分担担当し、布施事務所の事業・事務・経理とは明確に区分されています。

4、公民館及びコミュニティセンターでは、特定の候補者の支持が出来ないことや政党の利害に絡むものはできないとされているところ、市議会議員の肩書を利用していることは誤解を招いている原因の一つであり、講義内容において支持を仰ぐ内容や特定政党の利害に絡むものがなかったこと。

当法人が2月中に6回にわたって公民館、コミュニティセンターで開催した「4月からの千葉市の高齢者や障害者の福祉計画についての説明と福祉相談会」については、各担当区域のあんしんケアセンターの協力を得て担当者のご出席のもと開催したもので、開催内容、講義内容に特定政治家、政党の支持を仰ぐ内容は一切含まれていません。配布資料においても、全て説明会に必要な千葉市関係資料、当法人活動案内、あんしんケアセンター紹介資料、千葉大学サテライトキャンパス公開講座チラシで、政治家、政党のパンフ、チラシ等は一切配布していません。

講師に布施貴良顧問をお願いしたのは、同顧問が、日頃より高齢者福祉、障がい者福祉に深い知識を持ち、当法人の活動にも一会員として積極的にかかわっており、地域の実情に詳しいことから、実態を踏まえたお話を頂けると考えたからです。また当法人の財政上の理由からも、経費を支払って講師を依頼する余裕がなかったことも事実です。なお、布施貴良顧問は、ヘルパー2級の資格を持ち、さらに認知症高齢者の増加を踏まえ、2013年度東京大学の行う市民後見人養成講座を受講し修了して専門知識を得ています。

また、千葉市議会議員という肩書を付記したことに関しては、市議会議員が市の計画(案を含め)や施策内容について、市民に説明することは当然の職務であり、講師を依頼するにあたって、市議会議員の肩書を付けることにより市政に係るものとして当然の責任ある態度を示してほしいと考えたからです。

以上の事から、「市民」からの当法人の開催した「4月からの千葉市の高齢者や障害者の福祉計画についての説明と福祉相談会」及び布施顧問の講演が、政治活動、選挙活動であるという「情報提供」は、全くの憶測に過ぎず、事実を不当に歪めたものです。

#### 5、1（3）に記載の説明会のちらしを回覧・配布にあたり、自治会・町内会長等の情報の入手方法

当法人は、今回の「市福祉計画説明・相談会」の開催にあたり、特に介護保険計画の改定趣旨が「地域包括ケアシステム」の構築を目指すものであり、地域の町内・自治会活動と深い関連性を有するものであることから、当法人として開催の案内をいたしました。それにあたっては、市政、地域に関連することでもあり、布施貴良顧問の所持している町内自治会名簿をお借りし発送いたしました。

一部町内・自治会において回覧・配布されたことに関しては、直接当法人が要請したのではなく、町内・自治会長において、自主的に判断をされ行われたものと考えます。

なお、布施貴良市議会議員が「市福祉計画と相談会」の開催内容を掲載した

「美浜レポート」を発行し配布していますが、「選挙に向けた宣伝的要素」の全  
くない同議員の自主的な市政・議員活動であると承知しています。

平成27年3月19日

特定非営利活動法人福祉の街美浜をつくる会  
理事長 由佐勝美



平成 27 年 3 月 19 日

千葉県高齢障害部長 大木三雄 様

NPO 法人福祉の街美浜をつくる会  
理事長 由佐 勝美

## 「4月からの千葉市の高齢者や障害者の福祉計画について説明と福祉相談会」 開催結果報告と要望について

貴職におかれましては、千葉市の高齢者及び障害者の福祉対策につきまして、鋭意お取り組み頂いておりますことに感謝を申し上げます。

私たちは、美浜区を中心とした地域において、子育て支援や高齢者・障がい者の生活支援、福祉講演会、相談会に取り組んでいる NPO 法人です。この度、千葉市において計画されている「千葉市高齢者保健福祉推進計画」(介護保険事業計画)(案)及び「第 1 期千葉市障害者福祉計画」(案)について、当法人の活動の一環として、住民に対する説明会、併せて福祉問題に関する相談会を下記のとおり開催いたしました。

開催結果について、ご報告申し上げますとともに、会場で出された意見、要望を踏まえて当法人の要望としてまとめましたので、4月からのそれぞれの計画に反映していただきたく、また実施にあたりご配慮いただくようお願い申し上げます。

### 1、開催日程と会場

2月8日(日)	10:00~12:00	稲浜公民館	稲毛海岸 3-4-1
2月11日(水)	10:30~12:30	高洲コミュニティセンター	高洲 3-12-1
2月14日(土)	10:00~12:00	幸町公民館	幸町 2-12-14
2月21日(土)	15:30~17:00	真砂コミュニティセンター	真砂 4-1-7
2月22日(日)	14:00~16:00	磯辺公民館	磯辺 1-48-1
2月28日(土)	14:00~16:00	高浜公民館	高浜 1-8-3

### 2、開催内容

テーマ「千葉市高齢者保健福祉推進計画」(介護保険事業計画)(案)及び「第 4 期千葉市障害者福祉計画」(案)はどのような内容か

説明員 NPO 法人福祉の街美浜をつくる会副理事長 神馬嘉津子(介護ヘルパー)

NPO 法人福祉の街美浜をつくる会顧問 布施貴良(千葉市議会議員)

NPO 法人福祉の街美浜をつくる会理事 柿田昭則(社会福祉士)

相談員 あんしんケアセンター相談員(高洲、幸町、真砂、磯辺)、介護団体「たすけあい美浜」(役員)、当法人(社会福祉士・精神保健福祉士等)の担当者

- 資料 ①千葉市高齢者保健推進計画(介護保険事業計画)概要版(案)  
②第3次千葉市障害者計画及び第4期千葉市障害福祉計画(案)の概要  
③NPO 法人福祉の街美浜をつくる会ご案内  
④千葉大学高浜サテライトキャンパス公開講座のお知らせ(2月20日、3月20日)  
⑤各あんしんケアセンター案内

### 3、開催結果

#### (稲浜公民館会場のご報告)

区内6か所で開催する予定の第1回目を、2月8日(日)午前、稲浜公民館で行いました。当日は雨降りの予報でしたが、31人もの方に参加して頂き盛況でした。

はじめに、当法人の主な活動について神馬副理事長が紹介し、続いて「千葉市高齢者保健福祉推進計画(介護保険事業計画)(案)及び「第4期千葉市障害者福祉計画(案)はどのような内容か」というテーマで、当法人の顧問である布施貴良が説明をしました。

後半の「福祉相談会」では、まず、相談員の「あんしんケアセンター高洲」、「介護団体たすけあい美浜」、「当法人」からそれぞれの機関の紹介と挨拶があり、その後、癌等の在宅緩和ケア医、訪問診療機関(自宅で看取り最後を迎えたい)、終末期の高齢者を扱う特養老人ホームの現状、独居や終末期の課題に取り組んでいる自治体等について、質疑応答が活発に行われました。あんしんケアセンターが相談の窓口になること等が分り、この集まりが市民の皆さんの理解、安心のために一定の役割を果たすことが出来たと感じました。

#### (高洲コミュニティセンター会場のご報告)

第2回目が、2月11日(水)午前、高洲コミュニティセンターで行われました。天気も良く93名の参加があり、椅子が足りなくなるほどの大盛況でした。

当法人の由佐勝美理事長からの挨拶、神馬嘉津子副理事長からの主な活動についての紹介があり、続いて「千葉市高齢者保健福祉推進計画(介護保険事業計画)(案)及び「第4期千葉市障害者福祉計画(案)はどのような内容か」というテーマで、当法人の顧問である布施貴良が説明をいたしました。後半の「福祉相談会」では、まず、相談員の「あんしんケアセンター高洲」「介護団体たすけあい美浜」「当法人」からそれぞれの機関の紹介と挨拶がありました。その後、特別養護老人ホームの待機者数、費用、入院中の家族の今後の処遇がどうなるか、特養の報酬切り下げと職員給与への影響、要支援のサービスがボランティア頼みになっていること、制度の谷間、等の問題について質疑応答が活発に行われました。

参加者にとって身近で切実な問題となっていることが改めて感じられ、取り組みの重要性を再認識いたしました。

#### (幸町公民館会場のご報告)

第3回目が、2月14日(土)午前、幸町公民館で行われました。24名の参加があり、小さめの会場のせいもあってか親密な雰囲気になりました。

当法人の神馬嘉津子副理事長から主な活動についての紹介があり、続いて「千葉市高齢者保健福祉推進計画(介護保険事業計画)(案)及び「第4期千葉市障害者福祉計画(案)はどのような内容か」と

いうテーマで、当法人の顧問である布施貴良が説明をいたしました。後半の「福祉相談会」では、まず、相談員の「あんしんケアセンター幸町」「介護団体たすけあい美浜」「当法人」からそれぞれの機関の紹介と挨拶がありました。その後、要介護度の見直しのされ方についての質問や、市役所、区役所まで行けない高齢者が必要な書類を受け取れるように、団地の中に住民サービスの窓口を設置してほしいとの切実な要望が出されました。住民サービスについては、布施顧問から現在当局がコンビニでも交付が受けられるように検討中であることを説明しました。

#### (真砂コミュニティセンター会場のご報告)

第4回目が、2月21日(土)午後、真砂コミュニティセンターで行われ、35名の参加がありました。

当法人の神馬嘉津子副理事長から主な活動についての紹介があり、続いて「千葉市高齢者保健福祉推進計画」(介護保険事業計画)(案)及び「第4期千葉市障害者福祉計画」(案)はどのような内容かというテーマで、当法人の顧問である布施貴良が説明をいたしました。後半の「福祉相談会」では、まず、相談員の「あんしんケアセンター真砂」「介護団体たすけあい美浜」「当法人」からそれぞれの機関の紹介と挨拶がありました。その後、現在要支援のサービスを受けている家族は、4月からどうなるのか、特別養護老人ホームの待機者はどのくらいいるのか、新設の特養の見学を市で実施してほしい等、質問や要望が活発にだされました。新設の特養の見学会は、老人会や有志で直接申し込んでも可能であることを説明しました。また要支援1・2のサービスの体制づくりが、喫緊の課題であることを再認識いたしました。

#### (磯辺公民館会場のご報告)

第5回目が、2月22日(日)午後、磯辺公民館で行われ、26名の参加がありました。

当法人の神馬嘉津子副理事長から主な活動についての紹介があり、続いて「千葉市高齢者保健福祉推進計画」(介護保険事業計画)(案)及び「第4期千葉市障害者福祉計画」(案)はどのような内容かというテーマで、当法人の顧問である布施貴良が説明いたしました。後半の「福祉相談会」では、まず、相談員の「あんしんケアセンター磯辺」「介護団体たすけあい美浜」「当法人」からそれぞれの機関の紹介と挨拶がありました。その後、あんしんケアセンターの増設・増員、要援護者への災害時支援、ボランティアのポイント制、認知症者の緊急情報、障害者基本法、等についての質問や、認知症ではないかと心配しているご本人からの受診や要介護認定の手続きについての質問が出され、活発な話し合いになりました。課題の山積とあんしんケアセンターの拡充の必要性を改めて感じました。

#### (高浜公民館会場のご報告)

第6回目(最終回)が、2月28日(土)午後、高浜公民館で行われ、34名の参加がありました。

まず、相談員の「あんしんケアセンター高洲」「介護団体たすけあい美浜」「当法人」からそれぞれの機関の紹介と挨拶があり、続いて当法人の神馬嘉津子副理事長から主な活動についての紹介をしました。次に、「千葉市高齢者保健福祉推進計画」(介護保険事業計画)(案)及び「第4期千葉市障害者福祉計画」(案)はどのような内容かというテーマで、当法人の理事であり社会福祉士の柿田昭則が説明をしました。後半の「福祉相談会」では、昔と違い介護保険制度により介護の現状が改善されていることに驚いたとの感想や、要介護認定の決定を早急にとの要望、精神障がい者の場合、本人の同意を得ることが



難しい、認定結果が軽く出てしまう等の問題提起があり、精神障害者が65歳から介護保険法に移行することについては、研究課題とさせていただくこと等、布施貴良顧問から補足の説明、回答をしました。

全6回を通して、参加者の熱心な態度に接し、改めて今回の企画がタイムリーでニーズに応えうるものであったことを実感いたしました。引き続き高齢者、障がい者の問題に当法人として取り組んでいくことの重要性を認識いたしました。

#### 4、開催結果を踏まえた要望について

①「千葉市高齢者保健福祉推進計画」（介護保険事業計画）（案）及び「第4期千葉市障害者福祉計画」（案）については、現状を十分に検討された結果の計画（案）であると認識いたしております。今後、この計画が着実に実施されることを切に願うものであります。

##### ②高齢者福祉施策について

介護保険制度の見直しについては、市民の皆さんが「サービスの切り下げになるのではないか」との危惧を強く抱いています。ついては「要支援1・2」のサービスが現状より低下することのなきよう、十分な体制作りを急いでいただきたく要望いたします。

「地域包括ケアシステム」の推進については、美浜区では特に往診の医師をどう確保するか、地域全体が高齢化する中で、もともと地域コミュニティ意識の薄い土地柄で、住民相互の助け合い意識の醸成・涵養、ボランティアの確保が課題であり、行政と関係地域団体の十分な取り組みが必要です。

また、相談の窓口である「あんしんケアセンター」の増設、増員等の拡充を推進していただきたく要望いたします。

更に、高齢者の住まいの身近な場所に、市役所・区役所の窓口を早期に設置していただきたく要望いたします。

##### ③障がい者福祉施策について

3障がいのなかで一番遅れている精神障がい者福祉施策の充実を凶って頂きたく要望いたします。

また、障がいをもつ子どもの通学にあたり、重度軽度を問わず必要に応じて介助のための人員配置、環境整備等を推進していただきたく要望いたします。